

アルファロメオ江戸川
ALFA ROMEO EDOGAWA

Racing on

- 14th Stage -

サーモスタットの故障は、
気付かずに乗り続けると
大変なことになりますよ。



アルファロメオ江戸川
サービスフロント

酒井 英朗

お客様とクルマを整備するメカニックへの橋渡しを担当するサービスフロントとして活躍。元来メカニックでもあったため、チューニングやメンテナンスなどへのアドバイスは的確。

ついにジュリエッタが発売され、アルファロメオ界が久しぶりに活気に湧いています。もう皆さま現車はご覧頂きましたでしょうか？

もちろんアルファロメオ江戸川にもジュリエッタの展示までご試乗を行っておりますので、まだご覧頂いていらっしゃらないお客様はぜひ弊社までお問合わせください。さて今回は最近よく修理やお問合わせを頂いている部品について書かせて頂きます。

温度管理を担う サーモスタットとは？

最近弊社にて修理やお問合わせを多く頂いている部品は、サーモスタットです。そのサーモスタットとは、どの様な仕事をする部品なのでしょうが？サーモスタットの役割は、ラジエターとエンジン間の出口が入口に取り付けられている部品です。エンジンの温度が低い時はサーモスタットを閉じ冷却水をエンジン内部に循環させ、エンジンを暖まり易くします。逆にエンジンの温度が高くなっている場合にはサーモスタットを開けて、冷却水をラジエターまで循環させ冷却水を冷やしエンジンを冷却します。これがサーモスタットの役割です。

ではこの季節にサーモスタットが仕事をしなくなってしまうたらどうなるのでしょうか？エンジンを暖める事が上手く出来なくなってしまう、エンジンがオーバーホール状態になってしまう。この事に関しては弊社ホームページのメンテナンス情報にもメカニックが書いておりますので、そちらをご覧ください。

さてこのオーバーホールがもしご自身のお車に起きていたと

したらどの様な症状が出るのでしょうか？例を上げさせて頂くと、ヒーターの効果が弱くなくなが車内が暖まらないや、水温計の針が上がりづらい等の症状が車に現れます。

サーモスタットに異常があり、先の様な症状が出ている場合には何が起きているのでしょうか？エンジンが暖まらないオーバーホール状態のエンジンでは、エンジン内部の温度が上がりづらい為、早く暖めようとコンヒーターが考えます。よって通常よりも燃料の噴射量を多し、本来エンジンが持っている性能を発揮できず燃費も悪くなってしまう。燃料内部に燃えカスが残り、内部に余計な汚れを発生させてしまう為、ふけ上がりの悪さや出力低下等にも繋がってしまいます。ただこの様な状態であればまだ軽い症状です。より症状が重くなってしまう場合は、ワーニングランプが点灯致します。もしワーニングランプが点灯したら速やかにディーラーへの入庫をお勧め致します。

最悪、エンジン交換… なんて事もありません。

オーバーホールの状態ならまだしも、冷却水の循環が上手く行われず冷却をされない環境がエンジンにとって一番最悪の環境です。冷却が上手く出来なない時間が長ければ長い程、エンジンは痛めつけられ寿命が短くなってしまいます。最悪は運転中にエンジンが焼きつきを起してしまいう事もありません。一度焼きついてしまったエンジンは修理が難しく、エンジン交換というとても高価な作業が必要になってしまいます。その為事前に不具合を発見し対処出来れば、サーモスタットの交換と冷却水の交換で済む事が大多数です。

今まで水温計を見た事が無いという方がいらっしゃれば、ぜひ一度水温計をチェックしてみてください。エンジン始動後しばらくたつても針が動かなくなったり、なかなか90度付近まで上がらなければその兆候があると思われた方がよいと思います。「水温が上がらづらい」「ヒーターが効きづらい等」、気になる点がございましたらお気軽に弊社スタッフまでご相談ください。但し、サーモスタットは外して点検しないと不具合が見つけられません。しかも、走行後の冷却水は非常に高温なので、ご来店頂いて直ぐに点検をさせて頂く事が出来ません。お車をお預かりした上の作業となりますのでご了承ください。

皆さまのご来店を
スタッフ一同、心より
お待ちしております。



フィアット江戸川・アルファロメオ江戸川



東京都江戸川区一之江2-7-9 TEL 03-3656-8989

営業時間 10:00~19:00 定休日 毎週月曜 <http://www.alfa4u.jp>